

閱

副官

陸軍省

1101

第九一第

統計

附

四十一年

六月十九日

結

陸軍省

陸軍省副官立花小郎殿

一新聞翻譯第六號
右為參考及御送附候也
明治四十一年五月十三日

清國駐屯軍參謀磯部昌朝

清國駐屯軍參謀磯部昌朝

陸軍省
密令第二五七號

恩達第五三號

五月二十日

軍司令部

發第...

丁酉

陸軍省

...

...

軍事

目次

新聞翻譯第六號

明治四十二年五月五日

巡警歩隊ヲ編成替ヘシテ辦法ヲ順天府ヨリ奏上セル文
支那軍隊用ノ無線電信機ヲ購入ス

軍器製造廠ヲ河南鄭州ニ設立スルコトニ決定ス

大演習地驗査員報告

張家口ニ軍鎮ヲ添設セルトス

海軍配置法ヲ電報ス

武備中學ヲ設立スルノ計画ヲ會議ス

大臣ニ海軍事務ヲ委任セシム

長江水師營務處基臣ヲ設ケルトス

陸軍部秋季演習日ノ準備

交通

黑龍江鉄道ノ布設期限ヲ定ム

河南鉄道

廣榆鉄道ヲ布設セレストス

外交

○李公使清政府ニ日本御刺會議ヲ電告ス

革命黨及土匪

孫文ノ消息

雜件

○極東ニ於テ露國通譯養成

日清關係

獨逸兵ノ違犯

ホヤコット

郵傳部尚書陳璧，保奏
 湖廣統督趙爾巽，保奏
 民政部官吏，言
 ○廣東女子國耻會
 外務部官吏，言
 鐵尚書軍機ニ入ラトス

軍事

巡警言歩隊ヲ編成替シタル辦法ヲ順天府ヨリ奏上

シタル文

(三月三十日北洋官報)

順天巡警言馬隊ハ前ニ編成替シタリシカ今又之
ヲ巡警言歩隊ニ編成替ヲナサントシ其辦法ヲ恭
シク奏書ニ認メ仰テ聖鑒ヲ祈ル事ヲ奏
ス竊カニ維フニ敬言察ハ行政ノ機關、保安ノ要
術ナリ屢々諭旨ヲ奉シ各省ニ令シテ整齊辦セ
シノ又特ニ民政部ヲ設ケテ之ヲ管理セシメタリ
其後連年各省ノ都府及各村ニ皆漸次之ヲ
舉行スルニ至レリ而シテ北京天津ニ於ケル成效
ハ尤モ著シキモノトセリ順天ニ原ト有リタル捕盜
營ハ五路ニ分駐セシメタルカ光緒二十八年ニ至リ

勅裁ヲ得テ之ヲ巡警軍ト改メ騎歩兵四百七十
 六名ヲ募リテ新式ノ操法ヲ教練セリ三十一年八月
 ニ至リ復各路ニ分駐シタル騎兵百六名ヲ戻シ更ニ五十
 名ヲ増募シテ之ヲ巡緝馬隊ト改メタリ三十二年二月
 前ノ府尹タル陳璧カ復興巡緝馬隊ヲ総テ巡警
 ニ編成替ラサセリ原設ノ武官ハ悉ク解散ヲ命ジ
 天津ヨリ有力ナル警官一名巡官四名定員外
 ノ巡官三名ヲ招キ隊ヲ分ケテ教練セシメ又新式
 ノ銃器ヲ購ヒテ之ニ述ヘ新ニ定メタル俸給額ニ照ラ
 シテ給料ヲ支給シ試験スル丁ニケ年ニシテ已ニ進
 歩シタルヲ見タリ秋冬ニハ各管内ニ分遣シテ巡緝
 セシメタルカ尚ホ力ヲ得タリト稱セリ但所屬ノ五路ニ
 ハ向キニ馬隊ヲ駐防セシメタリ具ホ兵ノ駐防シタルハ但

夕差遣ニ供シタルナリ馬隊ヲ調回シ編成替ヲシ
 タル後ハ祇能ク調遣巡緝用ニ供シ各路ハ僅カ
 ニ差遣ノ歩兵アルノミ右ハ既ニ駐防ノ本義ニ乖リ
 亦巡警言ノ定章ニ非ラサルナリ前ノ府尹署理タリシ
 裴維安ハ曾テ名稱ト人員ヲ改訂シ給料ヲ加給
 シ并ニ確實ナル經費ヲ指定シテ奏明シタルアリ特
 ニ員弁ヲ選擇シ敬言章ヲ斟酌シタルカ一時未タ之ヲ
 実行スルニ及ハス臣ノ着任以來各所屬ノ情形ヲ取
 調ヘタルニ盜難事件ハ時トシテ聞ク所アリ近幾一
 帶ニ亦嘗テ土匪ノ出没スルアリ各州縣ニ命シテ
 嚴重ニ賞罰ヲ定テ日ヲ限リテ緝捕セシムルニシ
 タレモ各州縣ノ捕役ハ久クシテ恃ミトスルニ足ラス巡
 警馬隊モ亦派遣スルニ足ラズナリ故ニ巡警言歩

隊ヲシテ切實ニ施行スルニ非ラザレバ以テ地方ヲ
 安靖スルニ足ラサルナリ願フニ原案ニ巡警歩隊編
 成替モントスル辦法ハ尙ホ未タ盡ク完備セサル者ア
 リ依テ臣等ハ督辦シテ辦理シ警務各員ハ詳カ
 ニ研究ヲ加ヘシメタリ查スルニ原案ハ以各路ニ居ル原
 有ノ歩兵ヲ巡警正兵ニ編成替ヲナシ更ニ各路ニ差
 遣隊タル名稱ヲ設ケタリ而シテ督率教練スルノ
 責任ハ未タ分別シテ詳定スルヲ能ハス今中路ニ警
 務總局一ヶ所ヲ設ケ四路ニ各分局ヲ設ケ沿中
 及四路同知ヲ以テ各局々長トナシ以テ事權ヲ一
 シ呼應ニ便ナラシメントス歩隊巡警一名ヲ設ケ五
 路巡警ハ均シク其管理ニ當セシムルヲ即チ
 候選通判陸壽昌ヲ以テ之ニ充テタリ各局内ニハ

教練所督練官一名ヲ添設シ陸壽昌ヲシテ之ヲ
 兼ネシム別ニ教練官五名ヲ設ケ確實ニ督同教
 練セシメ以テ従前ノ積習ヲ洗セシム其京有ノ千地
 外委ハ素ヨリ緝捕ノ任ニ當リ且警言察規則ヲ
 諳シ居ル者故具俟留任セシメ且昇級セシムヘシ力
 ヲ得サリシ者ハ直ニ其職ヲ免シ官弁ノ々員アリシ
 場合ニ旧日力ヲ得タル員弁ヲ選ヒテ採用スルトセ
 リ且臣署ニ於テ前ニ設ケタル巡警言俾習所ノ平
 業生ニシテ最も優等ナル者及力ヲ盡シタル巡長ハ
 夫々見習トシテ採用スルトセリ各隊ノ巡長ニ至
 テハ優等生及平日能ク其職ヲ勤メテ現ニ警言察規
 則ヲ修メタル巡兵ヲ以テ之ニ充ツルナリ巡警言歩隊ヲ
 改メ更ニ督率教練スルノ各員ヲ添設シタル辦法ナ
 三

リ巡警ノ盜賊ヲ緝捕スルニ必ス探偵ヲ恃トシ以
 テ之カ耳目ト為リ周流巡緝追捕搜拿スルニ則
 騎兵ヲ恃トシ以テ之カ補助トナルナリ原有ノ巡警騎
 兵ノ駐紮ハ從來一定シタル所無キ故急事アリシ時應
 援スル丁能ハサリシカ今面京菱ニ編定シタル定員外トシ
 テ五路ニ各馬巡隊十名ヲ添設シ其探訪隊トスル則
 先ツ中路ニ十名ヲ添設シ訓練シテ巧アリ辨理シテ
 効有リシヲ俟テ各路ニモ再ヒ之ヲ添設スル丁トセリ
 是レ巡警歩隊ヲ改メテ馬巡探訪各隊ヲ添設シ
 タルノ辦法ナリ京菱ニ馬歩隊官弁兵役ノ給料及馬
 糧ヲ合計シタルニ毎年銀五万三千余兩ヲ要シ閏
 年ニ遇ハハ若干ヲ増加スル丁ニセリ臣等ハ今回馬
 巡ヲ添募シ且中路ノ探訪ヲ設ケントス各種ノ公

費給料馬糧等ヲ統計シタルニ大約銀五万八千余
 兩ヲ要スヘシ之レヲ京奏ノ一年ノ費用銀五万三
 千余兩ナル是額ニ較フレハ銀五千余兩ヲ増加ス
 京奏ニ指定シタル地税銀四万五千余兩ヲ支度シ及
 旗人ノ財産八千余兩ヲ截留シテモ尚ホ不足スル丁五
 千余兩ナリ依テ臣署ニテ他款ノ項下ヨリ流用シ
 テ以テ急需ニ應スヘシ編成替ヲスル初メニ當リ銳
 器軍裝ヲ備置クコトニ至テハ需用較多キユヘ歷
 年節存シタル兵ノ給料ヨリ餘シタル正款ノ項下ヨリ
 引当シテ之ヲ用フルコトセリ是レ巡警立歩隊ノ編成
 替ヲスルニツキ給料ノ支度ヲ計畫シタル辦法ナリ以
 上ノ辦法ハ臣等公同商定シタルモノニテ即本月期
 日ヲ定テ奉行セリ原ト編成シタル巡警馬隊ハ以テ

遊撃ノ師ト為シ復新ニ編成シタル巡警歩隊ハ以
 テ駐防ノ用トナセリ而シテ又之ニ増スニ探訪ヲ以テシ之ヲ
 輔クルニ馬巡ヲ以テシ督率ニ人有り教練スルニ人有り
 消息敏速ニシテ脈絡聯貫スルハ敢テ遠クニ成效ア
 ラスト虽モ地方ニ於テ裨益スル丁無キニ非ラス臣等
 ハ仍當サニ臨時督飭シテ確實ニ辦理シ具未_レ盡
 サル事宜有ラハ亦當サニ臨時損益ヲ計リ以テ聖主ノ
 関閥ヲ綏靖シ愛民如子ノ主意ニ副ハンコトヲ
 期ス右ハ已ニ有_ル省ニ通知シ以テ方法ニ仿ヒテ実行
 セシムル丁ニシタリ茲ニ順天巡警馬隊ヲ前ニ編成替
 ラシタル今又五路巡警歩隊ニ編成替ヲナシ且馬巡
 ラ添募シ并ニ中路ニ探訪隊ヲ設ケタル各理由ヲ
 淨書シ其給料ノ明細書ヲ添_ヘ恭シク具陳シ伏

シテ 皇太后 皇太子ノ聖鑒訓示ヲ乞フ 謹奏
光緒三十四年二月十四日 奏 眞衙門 知ラズシ

支那軍隊用ノ無線電信機ヲ購入ス

(四月九日 エコードシイヌ)

南京ノ通信ニ依ルハ支那ノ軍隊ニ備フヘキ無線電信機ヲカルロウヰツ商會ノ仲次ニテ獨逸ヨリ購入シ既ニ着荷シタリ其代價ハ郵送費等ヲ込メ一五、九五〇兩なり或人ノ意見ニテハ寧ろ尚ホ取モ高額ノ見込アリシカ端方總督ハ現ニ編成中ノ軍隊必需要器ナレハ以費ヲ支度スヘキナリ決シタリ該機械ノ到着スルヲ直ニ第三十三及第三十四聯隊ノ營所ニ送ラレタリ此所ニテ一名ノ獨逸教官ハカルロウヰツ

五

商會ヨリ特ニ傭ハレテ支那兵ニ技術ヲ教授スヘシ
 教官ハニケ年間ノ期ヲ約シ傭ハレ月給ハ特ニカ
 ウキツ商會ヨリ支拂フタナリ据付方等一切ノ事
 ハ會社ニ於テ之ヲ整理スヘキ約ナレハナリ該機械ハ
 二百五十里余ノ距離迄ノ効ヲ有スヘシ機械一切ノ
 代價ハ省ノ會計部ヨリ支出セラルヘキモノトス

軍器製造廠ヲ河南鄭州ニ設立スルニ決定ス

(四月十八日 津一裁)

陸軍部ニテ今更ニ兵器製造廠ヲ河南鄭州
 ニ創設スルニ決定シ各種ノ軍器ヲ製造シテ以
 テ北方各省ノ新軍ノ用ニ供スル計商ナリトス
 鐵
 尚書ハ已ニ副使哈漢章ニ命シ同地ニ赴キテ切

ノ取調ヲナサシムル丁ニシタリト云

大演習地検査委員ノ報告

(四月二十二日順天時報)

本年秋季大演習ヲ行フヘキ土地検査ノ為、陸軍部ヨリ派遣シタル軍諮処副使哈漢章、第一司長盧靜遠、夙發官黃斗山ノ一行ハ、已ニ江甯ニ到着シ去ル三十日左ノ電報ヲ陸軍部ニ発シタリ

線路

大演習ヲ行フヘキ線路及配置直スヘキ各師團ノ人員ニ就テハ、已ニ兩江總督端方ト商議シ遂ニ議定セリ

張家口ニ軍鎮ヲ添設セントス

(四月二十二日大公報)

今度政府諸大官ノ協議シタルヲ聞クニ京張鉄
 道ハ不遠竣工セントス就テハ將來張家口ヲ開放シテ
 通商港トスレハ商務ハ益々繁盛ヲ極メ從テ交渉
 事件モ日々多カルヘシ又同窓ニハ時々馬賊出没スル
 事故之ヲ鎮定シテ人民ヲ保護スルヲ尤モ緊要
 ナリ就テハ同地ニ將軍一名ヲ添設シ新軍ヲ訓
 練シテ以テ鎮攝スルニ供シ且洋関ニ設設シテ將軍
 ノ管轄ニ歸セシメントシ又同將軍ニハ滿漢二向
 ハス任命スルヲニスベシトノ事アリタリト云フ

姜軍配置ノ法ヲ電報ス（四月二十二日大公報）
 姜軍門ノ兵ヲ長江ニ駐紮セシメタルハ則長江ヲ防
 備セシムル為ナリ然ルニ江陰一帶ハ水村ヲ多キ為テ騎

兵ヲ駐紮セシムルニハ不適當ナリ現任主安軍門ハ安慶ニ駐紮シ居ルヲ以テ將來ハ即之ヲ以テ坐營トナシ兵二千ヲ駐メテ上下巡査ノ用ニ備ヘ江陰ニ則兵三千ヲ駐メテ五省門戸ノ防ヲ固ムルニセントテ今度兩江總督ヨリ政府ニ電報ヲ送リト云

武備中學校ヲ設立スルノ計畫ヲ會議ス

(四月二十日津報)

陸軍部ニテ陸軍中學校ヲ設ケントスルハ已ニ先頃協議アリタルヲナルが過日主大臣ハ復以計畫ヲ賛成シタルヲ以テ遂ニ天津江蘇湖北陝西ノ四ヶ所ニ各一ヶ所ヲ設ケルヲ決定シ天津ニテハ山東山西河南及東三省ノ小學校卒業生ヲ入學セシメ江蘇

ニテハ江西浙江福建廣東ノ小學生卒業生ヲ入學
セシメ湖北ニテハ湖南雲南貴州廣西及荊州ナル
小學生卒業生ヲ入學セシメ陝西ニテハ甘肅四川
新疆ノ小學生卒業生ヲ入學セシムル丁ニセリ其
已ニ中學校堂ヲ設ケタル者ニテハ益々擴張セシムル
丁ヲ許シタリト云

大臣ニ海軍事務ヲ分任セシム (五月五日北洋官報)
政府諸大臣ニ海軍ヲ復興スルコトニ付極力策勵畫ヲナシツヤリ
シカ今聞各大臣ヨリテ其責任ヲ分担セシムルコトハ醇親王及
袁庫機ヲ督辦ニ任シ王士珍海軍門ヲ襄辦トスル消息アリ
又載振溥儀ニ員子及ヒ載濤載洵毓朗ニ員勒ヲ各
軍海軍事務取調ニ任スベシト云フ

交通 黑龍江鐵道ノ布設期限ヲ定ム

(四月二十日 大公報)

郵傳部ニテハ黑龍江鐵道カ中國路政ノ東幹
ヲ以テ速カニ布設スルニ非ラサレバ以テ交通ニ利ス
ニ足ラストレ今度愈々四ケ年ヲ限リテ竣工セシムル
ニ定メ不日以前ヲ東三省總督ニ通達スルト云フ

河南鐵道

(五月五日 津報)

河南省鐵道ノ鄭州ヨリ河南府ニ至線路長サ約七十五
マイル至急落成セシムル必要アルヲ以テ工事ヲ分テ四段トシテ第
一區ハ鄭州ヨリ滎陽ニ至テ第二區ハ滎陽ヨリ鞏縣ニ
至テ第三區ハ鞏縣ヨリ偃師縣ニ至テ第四區ハ

九

偃師縣ヨリ河南府ニ至ルニタルカ第一段第二段即チ鄭州
ヨリ鞏縣ニ至ル間ハ已ニ本年正月ニ竣工シタルヲ以テ去月ヨリ
開通セリ貨物運賃ハ百斤ニ付三十仙ナリト云フ又第三段ナル
工事は本月下旬ニ竣工スル豫定ナリト云フ

廣樹鐵道ヲ布設セルトス

(五月五日 大公報)

政府ヨリ廣東樹林港ヨリ陸軍部ニテ第一軍港トナスコト
ニ決定シタルニ付テハ速ニ鐵道ヲ布設シテ海陸交通ノ便ヲ計ラ
ントレ即チ廣州ヨリ鐵道ヲ布設シテ同港ニ達スル計画ニテ
已ニ廣東總督ニ電報ヲ以テ商議ニ及ビタリト云フ

外交

李公使清政府ニ日本ノ御前會議ヲ電告ス

(四月十七日津報)

清國政府ニテ過日日本駐在清國公使李家駒ヨリ受
取タル電報ニ據ルハ日本政府ニテハ今度會議ヲ開
キ中國政府カ能ク廣東人ノ日貨ヲ抵制スルヲ
禁止シ能フヤ否ヤヲ討論シ且日本人ノ現在ノ損失
及將來ノ損失若干ナルヤヲ調査シテ中國ニ其損
害賠償ヲ要求スルヲ議シタリト云々アリタリト云フ

革命黨土匪

孫汶ノ消息

(四月十七日 津報)

孫汶ノ前ニ越南ニ居リシ時越南總督ヨリ境外ニ放逐シタルニ因リ香港ニ潜伏シ嗣テ日本ニ到リ又氣船ニ乘シテ香港ニ返リタリ今聞クニ本月初メ香港ノ寓所ニ於テ突然多數ノ人ニ圍ミレ幾ント捕獲セラレトシタリシカ同地ノ巡捕ニ驅散サレタリト又同時ニ數人ハ捕レテ獄ニ入レタリト云フ

陸軍

極東ニ於ケル露國通譯養成

(四月四日エゴードシイヌ)

白露戰役中、露軍ハ短シト日本語ノ通譯ナキニ痛ク
不便ヲ感シ而シテ其結果ハ誤解ヲ來スヘキ虞アリテ容
易ナラサルベシト感想ヲ起サシメタリ露國ノ陸軍者ハ約四
ヶ月程前軍隊中多少日本語ノ訛ヲ知ル者幾人
カラ調査セシメタルニ其結果ハ甚タ憐ハヘキモノナリシト
云サルヘカラス優柔不斷タル調査ノ結果ハ將校中曰
本語ヲ解スルモノ甚タ微ニシテ且ツ昨日ノ敵國タリシ日
本ノ語漢字ヲ曉チフカ如キ謬見ヲ懷キシモノ誰レモ之ヲ
ラサルナリト報告ヲ得テ政府ハ大ニ失望シタリ極東ニ
於ケル其状況ハ最も良好ナリトス東部西伯亞軍

大部及滿韓ニ駐在護境兵中ノ多クハ多クシ
 通セラルハナシ先ツ第一浦塩斯德ニ東洋語大進子ノ
 設ケアリニテ六日本語及支那語ヲ教授シ卒徒ニ軍
 隊附將校及其他ノ將校ニセザルアリ論理上ノ結果
 今日迄至極良好ナリシカ其教授方ハ唯々單ニ余リ
 教課方ニ拘泥スルヲ以テ實地ノ應用ト會話ニ適
 セス故ニ本校卒業ノ將校ハ同校ニ進子ニ得サリシ會
 話ヲ實習センカ為メニ若テノ日月間官費ヲ與ヘ
 テ日本ナリ又ハ支那ナリニ旅行ヲナサシムヘキ必要ヲ
 認メヨラレ
 將校ニシテ自己ノ為メ既ニ日支兩國語ノヲ學ビ居
 ル輩ニテ之ヲ繼續學ビ習スルヲ許サルヲ而シ試験ノ
 成績良好ナル場合ニハ五〇〇留乃至一〇〇〇留ノ賞金

ヲ興スヘキモノトス。實習校トシテハ記スヘキモノニテ所
 リ哈爾賓ニ在ル此校ハ中尉スーチャエウスキ氏ノ監
 督ノ下ニ支那語通譯下士ヲ養成スル所トシ、生徒三
 十名ヲ有セリ。同校ニテハ支那語ノ外特ニ情報勤務
 境射及光射機電報取扱方ヲ教授スヘシ。中尉ハ
 戰爭中馬賊教育ノ為メニ隊ヲ離レ居タル事トナ
 中尉ノ為メニ良キ經驗トナリタリ。實ニ斯ノ如キ方法ヲ
 以テ中尉ハ蠻ニ百姓語ヲ曉チヒタルノミナラス、尙ホ馬
 賊ノ偽計及畧語ヲ曉チヒ得タリ。之レ今日其固有
 ノ兵ヲ以テ其馬賊ヲ討伐スルヲ得ル所以ナリ。他ノ一
 學校ハ日本語通譯ヲ養成スル所トシ、其創立
 者ハ中尉クリロツフト名タル青年將校ニシテ龍
 騎兵將校ヨリ轉シテ約六ヶ月前ヨリ寛城子ノ露

國領事館護衛隊長トナリタル人ナリシカ既ニ戦争
 前ヨリ日本語學ノ研究ヲ始メ其駐在地ニ日本語
 學校ヲ開設セントノ許可ヲ請ヒタリ二十五名ヨリ
 成ル其部下護衛兵中志願者十五名アリ當初ハ非
 常ニ困難ヲ感シタリ日本人ハ一人トシテ北方ノ敵ニ
 自國語ヲ教授スルヲ欲スルモノナク遂ニ可ナク教育
 アル一名ノ日本人ヲ手ニスレケ月六十留ト外ニ家賃
 食料ヲ拂フヘキ約束ニテ之ヲ傭フタリ又其日本
 教師ハケ月八十留ニ増給セシコトヲ望ミタリ最モ
 彼ハ決シテ之ヲ負ラントスルニアラス國事竟其雜費
 少カラサルカ故ナリ實ニ猛キ兵卒而モ自國語ト少シ
 モ類似セル所ナキ兵卒ヲ教育シタル教師ノ勞ハ
 多トモサルヘカラス然ルニ彼ハ六ケ月間ニ巧ミニ習ヲ

開ギ且片仮名平仮名ヲ書キ又流暢ニ之ヲ讀ム
 刀ヲ得ヘキ六名ノ新通譯ヲ安サシムルノ効ヲ奏シ
 タリ之肩章ヲ刷キ兵營及布陳地ノ規則ヲ脱セ
 シメラレタル所以ナリトス然氏尚ホ之唯々六名ニ過キス
 再々生徒ノ數ヲ二十名ニ増シ而メ習速キ時期ヲ年
 ニ延バントセリ斯ノ如クスバ他日充分ナル成績ヲ得ル
 ノ望ミアルヘシ又單純ナル一學校ノ設立ハ總テ露
 軍中少クモ旅團毎ニ通譯一名ヲ備フルニ至ラン之
 露國政府が状況ヲ療殺向セントシテ盡ク獎勵ノ
 効果ミレテ確然其効用ヲ見ルコト遠キニアサルシ
 而メ其爰ニ至レルモノ許多ノ困難ヲ經實地ト學
 問トニ依テ能ク日本ノ事ニ通ズル將校タルクリッ
 ク氏ノ切ニ職由スルモノナリ

日清ノ關係

四月十五日クーリエーテンシン

廣東ニ於テ過日未屢々有志者會合ノ末地方協
會ハ辰丸ヲ日本ニ引渡シタル日ヲ已ムト定ムルヲ決
シテ演説家ハ人民ニ日本ノ貨物ヲ購フヘカサルコ
ヲ慫慂シ又日本ノ要求ニ服従シタル外部ノ強弱ニ
對シ人民ヲ煽動センカ為メ各地ニ赴キ演説會ヲ開ク
等ナリ

獨逸兵ノ違犯

四月十五日クーリエーテンシン

過ル日曜日四名ノ獨逸兵ハ萬壽山ニ侵入セント企
テタルニ支那護衛兵ノ為ニ支ヘラレタリ其時獨逸
兵ハ附近ノ家ニ入りシカハ護衛兵ハ其所ヲ立去ラシ

メントシタルニ忽チニ争鬭ヲ引起シ諸所ニ打擲
 合ヲ始メタリ宮殿護衛ハ遂ニ獨逸兵ノ軍帽及
 銃劔ヲ奪ヒ之ヲ外部ニ出シ全部ハ之ヲ陸軍
 部ニ引渡シタリ之ニ関シ昨日獨逸公使ハ其通
 牒ニ接シタリト

ホヰコツト

(四月十日日クリーエーテンシン)

廣東ノ商人ハ在外支那各通信員宛テ電報ヲ
 発シ支那ノ各商人ハ決テ貨物ノ搭載ヲ日本ノ
 航海會社ノ船ニ托スヘカラサルヤウヒンテヲ依頼
 シタリ

郵傳部尚書陳璧ノ保奏

(四月十七日)

平五

廣東陸路提督岑炳直、五品京堂梁士汲、安徽
布政司連甲、翰林院編修林炳章、法部高等
檢察長李焜瀛、五員共三其才用ニ足ル云々

湖廣總督趙尔巽ノ保奏

(四月十七日)

前湖北武昌府同知候補知府陳樹屏、候選教
諭楊保知縣陳漢、安徽高安等縣學堂教習胡
元吉、三員其才共ニ用ニ足ル云々

民政部官吏ノ言

民政部ニ於テハ各國公使館ヲ護衛ノ兵員ハ何レノ
國ノ士官ヲ見テモ捧ケ銃ノ禮ヲ為サルナキモ獨リ
清國ノ士官ニハ此ノ禮ヲナサズ又清兵ノ外國士官ニ

対シテモ少禮ヲナサハアリ賓主交誼ノ道ニ非ナリ
 ルヲ以テ奏請ノ上外務部ニ飭下シ各國公使ト商
 議シテ彼等一律行禮ヲナサシメントセリ
 民政部ハ本日内外ノ各廳員ヲ召集シテ提議捐
 局等ノ件ニ付特別會議ヲ開ケリ

廣東女子國耻會

(廣東官吏ヨリノ書信)

四月廿日廣東ニ於テ女子ノ國耻紀念大會ヲ開ク
 是日大雨盆ヲ傾クルモ雨ヲ冒シテ參集スルモノ約
 一万人ニ達セリ臺德榮陽兩女學堂ノ學生ハ皆
 白衣ヲ拭ケテ會場ニ赴キ夜履雨ニ惠濕セサルナク
 途人ノヲ見テ感既セサルハナシ會場外北路鐘ニハ
 巡官親兵十名并ニ各局ノ巡士兩度ハ風勇ハ隊

ラ列ネテ取締ル會場内ニハ辦事人並ニ軍樂隊
 新聞記者十餘人外総テ田方子ヲハレシメス午後
 開會ノ号鈴ヲ振ルヤ堂中ニ國恥紀念ト白布ニ大書
 セムヲ懸テ滿座白夜同シ蓋テ發起人ヲ公推シ劉守
 初滿幽芳ノ西女生ヲ主席壇余公泉女ヲ宣布ニ張
 華佩ヲ書記ニ授ケ先ツ開會ノ主意ヲ宣フ
 ヘタ主席人登壇演說セリ其畧ニ曰ク辰丸ノ事ハ
 張總督ノ剛正ニシテ日本ノ欺侮ヲ見ル如
 クニシテ外侮内訌ニ亡國滅種スルハ待ツベキノミ
 前ニ女子ノ國破レ家亡ブノ慘狀ニ説キ及ホレ激昂
 慷慨声淚共ニ下ル次ニ潘女士日本人ノ無理ヲ
 痛言シ次テ余女士ハ亡國ノ慘ヲ痛言シ女子
 八名方面ニ比シ其尤モ甚シキニ言及シ鄙人亦

言フニ忍ビスト云々声ヲ放ツテ大哭ス此時陰雨沈晦
 滿坐愁慘ノ氣ヲ滿テリ余女士ハ慟哭ノ餘リ遂
 ニ暈倒シテ壇下ニ落テ衆女ハ為ス処ヲ知ラザリシ
 カ蛇薑ヲ所持スルモノアリテ之ヲ與ヘ漸ク覺醒スル
 ラ得タリ其後士盧德ノ女學生簡卓亭京陽ノ
 女學生袁守英吳仲卿鄭称金黃五味等
 相次テ演說シ演說了リテ主席ハ拉言詞ヲ宣讀
 セシメ午後三時ヨリ會議ヲ始メ午後五時迄之ヲ討論
 シ終リニ左ノ如ク決議シテ散會セリ
 第一條 使用ノモノニハ國恥ノ二字ヲ印行シテ紀
 念ト為ス
 第二條 本國ノ貨物ノミヲ銷用スルヲ決議ス
 第三條 本國ノ貨物ヲ改良スルヲ決議ス

外部官吏ノ言

(四月十六日)

清國ハ暹羅ト好ヲ通セン為メ、外務部ヨリ奏請シ
 テ九千萬兩ヲ授シ清國公使館ヲ同國ニ新設スル
 丁ニ決シ其公使トシテ楊士琦ノ奏保ニヨリ三品卿
 銜ノ胡國廉ヲ以テ之ニ充ツル丁ニ決シタリト

外務部官吏ノ言

(四月十九日)

楊枢奉天ニ召喚派セラレントス其巡撫ト為スヤ參贊
 ト為スヤ未タ決定セス
 外務部仕延サ方ヨリ各國各種ノ勲章ヲ取寄
 セシメ之ヲ參酌シテ一種ノ勲章ヲ作り西重ノ帑
 算ニ供シタリ其等級ハ九級迄ナリ軍機所ハ曰

本ニ派遣セル達壽ノ至急歸京ヲ促シタルモ更ニ日
本ニ於テ講習ノ完了スルヲ俟テ歸國スベキヲ昨日
電報セリ

喀刺沁王ノ奏請セル蒙古銀行ヲ設立スル件ハ
度支部ヨリ先ツ人ヲ蒙古ニ派シ大清銀行支
店ヲ同王旗内ニ設ケ貯蓄ト為替ノ丁ヲ取扱
サシメ蒙古ノ風紀大ニ開クルヲ俟テ各旗共支
店ヲ設クルコトナレリ

新疆巡撫聯福ハ昨日保奏シテ曰ク候補道
楊增新大ニ用ユルニ足ルト慶親王同日保奏
シテ曰ク江蘇布政使端徽山西布政使丁寶
銓度支部右丞傅蘭奏廣東廉州府李涇
野ノ四員共大ニ用ユルニ足ルト

欽尚書軍機ニラントス（四月二十日大分親）
 政府ニテハ陸軍部欽尚書ヲ軍機大臣ニ推挙
 シ以テ要政ヲ賛襄セシムル説アリ不日其任命
 ヲ見ルナラント云